

第 2 7 期 事 業 報 告

自 平成 2 6 年 4 月 1 日

至 平成 2 7 年 3 月 3 1 日

株式会社 NHKプラネット

1 会社の現況に関する事項

(1) 事業運営の経過および成果

第27期（平成26年度）は、NHKの関連団体として、地域に貢献することを目標に積極的な事業展開を図り、地域の放送局などと連携しながら番組制作、イベント事業を行うとともに、各地の課題や伝統文化、地域づくりの新たな動きなどの情報を幅広く発信しました。また、NHKの“全体最適”の方針のもと、本社受託番組の増加や地域における事業の委託拡大の試行が行われ、その結果、懸案であった本社の経営は収支面でさらに改善がはかられ、全社レベルでも順調な業績を維持することとなりました。

NHKからの委託番組制作では、「うまいッ!」「人生デザインU-29」「あさいち ピカピカ☆日本」「のんびりゆったり路線バスの旅 スペシャル」「バラエティ生活笑百科」などの全中番組を数多く受託しました。また、BSプレミアムでも、「食材探検 おかわり!につぼん」や、被災地復興支援番組の「きらり!えん旅」を年間を通じた定時番組として制作し、「釣りびと万歳」などの特集番組も含め全社をあげて制作に取り組みました。地域放送でも、昼前情報番組、地域の特集番組、ニュース・情報番組を引続き受託しました。

イベント事業では、NHKから各地での「地域貢献イベント」を受託したほか、大河ドラマ「軍師官兵衛」特別展、特別展「台北 故宮博物院～神品至宝～」などのNHKグループが行う展覧会・美術展や幼児向けコンサートなどの地域展開を担い、地域の人たちに豊かな文化情報を提供しました。

自主事業では、「ひめじ官兵衛プロジェクト」「新京都放送会館視聴者公開スペース整備」「ESDユネスコ世界会議関連イベント」「新幹線50周年 夢の超特急展」などを実施したほか、「堺市文化観光拠点施設展示映像制作」などの映像制作も受注しました。

当期の売上高は70億42百万円で前期を約1億74百万円上回り、当期純利益でも1億22百万円を確保し、前期を約3百万円上回りました。

前期に対し増収増益であり、事業計画の目標（売上高 66億96百万円、当期純利益 30百万円）を大幅に上回ることができました。

(2) 各支社別の概況

(本社)

各支社との連携のもと、「うまいッ!」「あさいち ピカピカ☆日本」などの全中定時番組を制作したほか、BSプレミアムの定時番組として「食材探検おかわり!につぼん」のほか、被災地復興支援番組の「きらり!えん旅」を制作しました。特集番組では「釣りびと!万歳」などを制作しました。またイベントは「公開復興サポート 明日へ」を東北支社とともに実施しました。

(近畿総支社)

番組制作では、全中番組として趣味実用番組の「きょうの料理」「すてきに

ハンドメイド」「俳句王国がゆく」（四国支社）「趣味D o 楽」を制作したほか、「歴史秘話ヒストリア」「こころの時代」などを制作しました。また、芸能系番組では、「バラエティ生活笑百科」「にっぽんの芸能」「日本の話芸」といった関西ならではの多様な番組を制作し全国に発信しました。地域放送では、土曜午前の「あほやねん！すきやねん！」、日曜午前の地域経済番組「新・ルソンの壺」のほか、金曜夜間の「ええトコ」「えかこと旅」などを制作しました。

自主事業では、展覧会事業としては「あべのハルカス美術館開館記念特別展 東大寺」など、イベントとしては、「ひめじ官兵衛プロジェクト」「新京都放送会館視聴者公開スペース整備」「食料フォーラム 2015」「おかあさんといっしょ（大阪城ホール）」など、映像制作としては「堺市 映像制作・発信業務」「知恩院御影堂解体修理記録映像」などを実施し好評を得ました。

NHK大阪ホールの管理・運營業務では、安全・安心なホールとしての確な運営につとめ、NHKの要請に応えました。

(中部支社)

番組制作では、全中番組として「超絶 凄ワザ!」「うまいッ!」などを制作したほか、地域放送では、昼前情報番組「さらさらサラダ」、金曜夜間の「金とく」、音楽ライブ番組「U t a - T u b e」などを制作しました。イベントでは、地域貢献イベント「ネイチャーコンサート」をはじめ、「全国学校音楽コンクール」「ナゴヤパパママフェスティバル」などを実施しました。また、メディア事業では、「NHK名古屋放送局デジタルサービス」「データ放送制作」などをNHKから受託しました。

自主事業では、「ワンワンといっしょ！夢のキャラクター大集合」「ESDユネスコ世界会議関連イベント」「東儀秀樹×古澤巖×c o b a 全国ツアー」「新幹線50周年 夢の超特急展」など、多様なイベント、展覧会を実施しました。

(中国支社)

番組制作では「英雄たちの選択」などの全中番組を制作し、地域放送では昼前の情報番組「ひるまえ直送便」や、「わたしのベストショット」、金曜夜間の「プライムS」「フェイス」などを制作しました。イベントでは、「瀬戸内みらいコンサート」「ひろしまフラワーフェスティバル」などを実施しました。

自主事業では、「瀬戸内しまのわ2014メインイベント」「堺市文化観光拠点施設展示映像制作」などのイベントやソフト制作を行いました。

(九州支社)

番組制作では、「のんびりゆったり路線バスの旅 スペシャル」など全中番組を制作したほか、地域放送では、昼前情報番組「はっけんTV」、金曜夜間の「きん☆すた」などを制作しました。イベント事業では、地域貢献イベント「官兵衛トーク&コンサート」のほか、大河ドラマ「軍師官兵衛」特別展、特別展「台北 故宮博物院～神品至宝～」などの展覧会、「おかあさんといっし

よファミリーコンサート」などのイベントも実施しました。

自主事業では、特別展「九州仏」を実施したほか、「故宮博物院展」の民放スポットや「九州仏」の展示映像の制作を行いました。

(東北支社)

番組制作では、全中番組としてNHKスペシャル「私たちの町が生まれた～集団移転・3年半の記録～」や「もうひとつのイナサ」など震災関連番組を制作したほか、地域放送では、夕方のニュース情報番組「てれまさむね」、昼前情報番組「ひるはぴ」などを制作しました。イベント事業では、震災復興支援関連で「きらり！えん旅」ミニコンサート、「公開復興サポート 明日へ」などを実施しました。

自主事業では、「防災啓発ビデオ制作」や、「遠い帆 上演映像制作」などの制作を行いました。

(北海道支社)

番組制作では、「さわやか自然百景」「ワイルドライフ」などの全中番組を制作したほか、地域放送では、朝の情報番組「おはよう北海道」昼前情報番組「つながる@きたカフェ」金曜夜間の「北海道中ひざくりげ」「穴場ハンター」「いくぞ～！北の出会い旅」などを制作しました。イベント事業では、地域貢献イベント「北の音楽隊」のほか、「BSにつぼんの歌」や「おかあさんといっしょファミリーコンサート」を実施して好評を得ました。

自主事業では、「保線安全の日」DVDの制作などを行いました。

(3) 対処すべき課題

平成27年度は、経営の一層の安定化とそれに必要な体制整備に重点的に取り組みます。

そのひとつが、プラネットにとって統合合併以来の懸案であった事務処理の共通化です。その柱となる新事務系システムは、27年秋に人事・給与系の導入という大きな節目を迎えます。円滑な移行をはかるとともに、その導入効果を最大限に発揮できる具体策について引き続き検討を行っていきます。

ガバナンス、監査体制の充実強化も避けて通れない課題です。NHKグループの一員としての社会的な責任を果たすために、新事務系システムを活用した適正経理の一層の推進、必要な規程等の見直し・整備や体制面の検討を本格化させます。

また、NHKの新3か年計画のもと、グループ全体の業務改革の取り組みである“全体最適”の一層の深化がはかられ、地域サービスを担うプラネットの役割はさらに大きくなる見通しです。引き続きその動向を注視しながら、地域サービスの一翼を担うプラネットの役割を果たしていきます。

(4) 設備投資等の状況

当期において実施した設備投資の総額は、44 百万円です。

主な内容は、編集機 9 百万円、事務系システムライセンス 10 百万円等です。

(5) 財産および損益の状況の推移

区 分	第 24 期 (平成 24 年 3 月期)	第 25 期 (平成 25 年 3 月期)	第 26 期 (平成 26 年 3 月期)	第 27 期 (平成 27 年 3 月期)
売上高 (千円)	7,759,798	6,482,585	6,867,794	7,042,312
経常利益 (千円)	131,225	3,021	213,093	223,591
当期純利益 (千円)	54,391	△7,402	118,485	122,276
1 株当り当期純利益 (円)	11,526	△1,568	25,108	25,911
総資産 (千円)	3,598,570	3,698,084	3,784,918	3,889,658
純資産 (千円)	2,405,056	2,375,168	2,481,194	2,554,679

(6) 重要な親会社の状況

当社の親会社は日本放送協会であり、同協会は当社の株式を 2,462 株（議決権比率の 52.17%）保有しています。

当社は、同協会からの委託による放送番組などの企画・制作、イベント・展覧会・博覧会などの企画・実施、NHK大阪ホールの管理・運営などを行っています。

(7) 主要な事業内容

- ① NHKの委託による放送番組の企画・制作
- ② 映像ソフト・マルチメディアコンテンツの企画・制作
- ③ イベントの企画・制作
- ④ 展覧会・博覧会の企画・実施
- ⑤ NHK大阪ホールの管理・運営
- ⑥ 一般労働者派遣事業

(8) 主要な事業所

区 分	所 在 地
本社	東京都渋谷区神山町 5-20 神山町小川ビル
近畿総支社	大阪府中央区谷町三丁目 1-18 NS21ビル
同 四国支社	松山市堀之内 5 NHK松山放送局内
中部支社	名古屋市東区東桜一丁目 13-3 NHK名古屋放送センタービル
中国支社	広島市中区大手町二丁目 11-10 NHK広島放送センタービル
九州支社	福岡市中央区六本松一丁目 1-10 NHK福岡放送センタービル
東北支社	仙台市青葉区錦町一丁目 10-11 新平和ビル
北海道支社	札幌市中央区大通西一丁目 NHK札幌放送局内

(9) 従業員の状況

区 分	従 業 員	NHK出向者等	合 計
男	62	76	138
女	56	2	58
計	118名	78名	196名

2 会社の株式に関する事項

- (1) 発行可能株式総数 6,000 株
(2) 発行済株式の総数 4,719 株
(3) 株主数 51 名

株 主 名	持株数	出資比率
日本放送協会	2,462 株	52.17%
(株)NHKエンタープライズ	645	13.67
(株)NHKグローバルメディアサービス	273	5.79
(株)NHKプロモーション	162	3.43
(株)NHKメディアテクノロジー	138	2.92
(株)NHKエデュケーショナル	108	2.29
(株)NHK文化センター	66	1.40
(株)NHK出版	66	1.40
(株)みずほ銀行	61	1.29
(株)NHKアート	56	1.19
(株)NHKアイテック	56	1.19
(株)三菱東京UFJ銀行	37	0.78
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)	29	0.61
学校法人君が淵学園 (株)西日本シティ銀行 (株)福岡銀行 (株)ベスト電器 (株)ふくや 東北電力(株) (株)藤崎	各 24	各 0.51
京都府 兵庫県 滋賀県 京都市 神戸市 奈良市 大津市 阪急電鉄(株) 関西電力(株) 京阪電気鉄道(株) 大阪瓦斯(株) 近鉄グループホールディングス(株)	各 20	各 0.42
中部電力(株) 東海旅客鉄道(株) 名古屋鉄道(株) トヨタ自動車(株)	各 17	各 0.36
(株)ゼンリン	12	0.25
(株)北洋銀行	10	0.21

株 主 名	持株数	出資比率
福山通運(株) 中国電力(株) 広島ガス(株)	各 6	各 0.13
高山市 東邦瓦斯(株) セイノーホールディングス(株) ユニーグループ・ホールディングス(株) スターキャット・ケーブルネットワーク(株) 伊藤組土建(株) 北海道電力(株)	各 5	各 0.11
(株)天満屋 (株)福屋 (株)広島東洋カーブ	各 3	各 0.06

3 会社役員に関する事項

(1) 取締役および監査役の氏名等

地 位	氏 名	担当または主な職業
代表取締役社長	森 崎 義 人	
取締役	河 村 秀 世	本社経営企画室長
取締役	井 上 利 丸	近畿総支社長
取締役（非常勤）	黄 木 紀 之	NHK編成局長
取締役（非常勤）	小 野 昭 一	NHK事業センター長
取締役（非常勤）	茂手木 秀 樹	株式会社NHKエンタープライズ専務取締役
取締役（非常勤）	畠 山 経 彦	株式会社NHKプロモーション取締役
監査役（非常勤）	宇 野 和 照	株式会社みずほ銀行 営業第十八部次長
監査役（非常勤）	田 邊 良 成	NHK関連事業局 専任局長

- (注) 1. 平成26年6月27日付で、森崎 義人、河村 秀世、井上 利丸、黄木 紀之、小野 昭一、茂手木 秀樹が取締役に就任いたしました。
2. 平成26年6月27日付で、小森 隆夫、小嶋 富男、風谷 英隆、軽部 淳が取締役を辞任しました。

(2) 取締役および監査役の報酬等の額

対象者	人数	報酬の額
取締役	5名	38,412千円

- (注) 1. 使用人兼務取締役の使用人分給与はありません。
2. 上記報酬には、退任した取締役小森隆夫、小嶋富男に対する報酬も含まれています。
3. 株主総会決議による取締役に対する報酬限度額は、年額 100,000千円であります。

4 会社の体制及び方針

当社の業務の適正を確保するための体制の整備について、取締役会で決議した内容は次のとおりです。

- (1) 取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
取締役は、職務の執行が法令・定款に適合することを確保するため、職務分担に従い、諸規則、規程等を整備し、社内でその周知・徹底を図る。取締役会規則を遵守し、取締役間の意思疎通を図るとともに相互の業務執行を監督し、監査役はこの内部統制に関する体制の有効性と機能を監視し、課題の早期発見と是正に努める。
- (2) 取締役の職務の執行に係わる情報の保存及び管理に関する体制
関連規程を整備し、取締役の職務執行に係わる情報を、文書で適切に保存する。取締役及び監査役は、規程により、必要な時には何時でもこれらの文書を閲覧できる。
- (3) 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
代表取締役社長をリスク管理統括責任者とし、事業活動に伴う重大なリスクの顕在化を防ぎ、万一リスクが顕在化した場合の損害を最小限にとどめるためのリスク管理体制を整備して、その適切な運用・管理にあたる。
- (4) 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
取締役会において、各取締役の業務分担を明確にし、各機関及び各職位の権限等を規程に定めて、会社の意思決定及び執行を効率的かつ適正に行う。取締役会で経営資源の配分を決定し、年度事業計画により具体的な経営目標を定め、常勤役員会でその進捗状況を分析して、各部門が実施すべき具体的な施策を検討し、効率的業務を遂行する。
- (5) 使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
諸規則・規程・「倫理・行動憲章」等マニュアルなどを周知徹底し、遵守させることによって、法令及び定款に違反する行為の未然防止を図る。
- (6) 会社並びにその親会社及び子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制
親企業であるNHKのコンプライアンス体制と連携しつつ業務の適正を確保する。
- (7) 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項
監査役は、その職務を補助するために使用人が必要な場合、本社経営企画室の使用人に監査業務に必要な事項を命令することができる。

- (8) 前号の使用人の取締役からの独立性に関する事項
監査役より監査業務に必要な命令を受けた使用人は、その命令に関して、取締役等の指揮命令を受けない。
- (9) 取締役及び使用人が監査役に報告をするための体制その他の監査役への報告に関する体制
監査役は、重要な意思決定のプロセスや業務の執行状況を把握するため、取締役会その他の重要な会議に出席するとともに、決裁書類等の業務執行に係わる重要な文書を閲覧し、必要がある場合にはいつでも取締役及び使用人に説明を求めることができる。
取締役は会社に重大な影響を及ぼす事実を発見した時は直ちに監査役に報告する。
- (10) その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制
監査役は、取締役と必要に応じて会合を持ち、監査上の重要課題の意見及び情報の交換を行い、監査の実効性の確保を図る。

また、この取締役会決議を適切に実行するため、「株式会社NHKプラネット倫理・行動憲章と行動指針」を定めて、その遵守を図るほか、取締役会規則、常勤役員会規則、コンプライアンス推進計画、文書管理規程などの諸規程の制定・整備、コンプライアンス推進委員会の設置、取締役会議事録、常勤役員会議事録の整備などに努めています。さらに、当社の親会社であるNHKを中核とする企業集団の業務の適正性の確保のため、当社でもNHKの定めた「NHK倫理・行動憲章」「関連団体運営基準」などに従って、適正な業務運営に努めています。